

→**咳喘息**は喘息と治療が同じだが、喘息と異なり喘鳴が入らない。病歴で特徴的なのは、夜間や早朝に多く、とくに布団に入って身体が温まると咳が出やすい、というもの。診断的治療として**気管支拡張薬**を試してみよう!

→**GERD**では**食後や就眠時の胸焼け**をとくに問診しよう。診断的治療として**プロトンポンプ阻害薬** (PPI)を試してみよう!

→**アトピー咳嗽**では**アトピー素因の有無**を問診し、**喀痰の好酸球が増加**していることを確認する。病歴では、「**喉のイガイガ感を伴う乾性咳嗽**」が特徴!治療は**吸入ステロイド薬**か抗アレルギー薬だ。気管支拡張薬が無効だから覚えておこう。

それらを疑えば、胸部X線写真を撮らずに治療に踏み切ってもかまわない。

●肺の器質的疾患を疑わせる病歴や身体所見があればその場で胸部X線検査を行い、鑑別を進めよう。

→肺結核では陰圧室への隔離が必要!

→悪性腫瘍も見逃すな!

●感染後咳嗽や薬剤性 (ACE阻害薬)も忘れずに。

知って得する、 チーレジ豆知識 チーレジここが匠!! ①6

< 4大疾患の簡易診断法 > (図 11.3)

